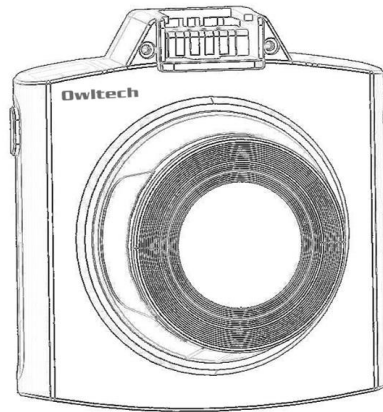


ドライブレコーダー OWL-DR401G 取扱説明書 【保証書付】

このたびは弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をご一読ください。また本説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管して下さい。



特徴

- 本製品はフル HD (1920 x 1080p) の高解像度と、F1.8 の明るいレンズを搭載することで、夜でも明るくノイズの少ない鮮明な映像を記録することができます。
- 内蔵バッテリーを搭載していないため、バッテリーの故障や劣化によるトラブルがありません。
- GPS 対応で日付・時刻の設定が不要です。また走行軌跡を残すことができます。
- 本製品はみちびき（準天頂衛星システム）に対応しています。
- G センサーを搭載し、衝撃時の映像を SD カードの専用フォルダに退避し保存します。
- WDR（ワイドダイナミックレンジ）技術で、逆光やトンネル出入り口など明暗差の大きなシーンでも適正な露出で撮影できます。
- LED 信号機消滅問題対策済みです。日本全国どこでも安心してご使用いただけます。
- 地デジ放送妨害対策済みです。地デジ放送に影響を与えにくいノイズ対策を行っています。
- 録画開始を音でお知らせし、画面を見ずに録画開始がわかります。
- 録画時にドライブ中の音声は録音をせず、事故時など衝撃を検出したときだけ音声録音を行う「プライバシーオート録音機能」搭載で、プライバシーを守りつつ肝心な事故時の音は逃しません。
- 動体検出機能で、エンジン停止後に電源を供給しメニュー設定をすることで駐車監視が可能です。
- ドライブレコーダー本来の機能を追求し、必要機能を充実させつつメニューをシンプルにすることで操作性が向上しています。



⚠️ もしも事故が発生した場合




事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずメモリーカードを抜いて保管及び、データのバックアップを行ってください。メモリーカードを抜き取る際は、必ず本製品の電源をオフの状態で行ってください。電源オンのまま抜き出すとデータ消失の恐れがあります。

はじめに

- 付属品をご確認ください。（準備ページの内容をご確認ください。）
- 本製品および本説明書は予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。最新の情報は弊社Webサイト（<https://www.owltech.co.jp>）を参照してください。本説明書に掲載している画面やイラスト・写真などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不明の点や誤りなどお気づきのことがございましたら当社サポートセンターに連絡ください。
- 万一本製品使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するSDカード内容の消失による損害および逸失利益等につきましては、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品を使用する前に必ず試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本説明書の一部または全部を無断で使用・複写・転載することはしないでください。
- 本説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。本説明書ではTM および®マークは明記しておりません。
- ご使用の前に「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡するまたは重症を負うなどの可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。

	製品の取扱いにおいて注意を促す記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を禁止する記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を強制指示する記号です。

警告

- 濡れた手で本製品およびアダプタやコネクタに触れないで下さい。
- 本製品を使用中に発火、過剰な発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店もしくは弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。
- 本製品を使用中に水や液体が入った場合は直ちにケーブル類を抜き使用を中止してください。
- 本体の分解や改造は絶対に行わないでください。ショートして火災や感電、故障や事故の原因になることがあります。
- 車両への取付けは、必ず本説明書手順に従って取り付けてください。誤って取付けると、道路運送車両法違反となるばかりか交通事故やけがの原因となります。
- 走行中は運転者による操作や画面の注視は避けてください。マニュアル録画する際は、周囲の安全を十分に確認した上で、素早く操作してください。
- 乳幼児の手の届く場所での使用や保管はしないでください。ケーブルが首などに巻きつくことや小さな部品を誤飲するなど、事故や傷害の原因になります。特にマイクロSDカードの取扱いには十分ご注意ください。

注意

- 火気のそばでの使用や保管はしないでください。本体の変形や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いている場合は、乾いた布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに無理やり押し込まないでください。コネクタの破損やショートの原因となります。
- 本製品を無理に引っ張ったり、折り曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。また、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体およびシガープラグコードは、エアバッグの妨げにならないように取り付けてください。
- ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。
- 駐車時などエンジン停止（ACC＝オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止（ACC＝オフ）時には必ずシガープラグコードを抜いてください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として販売しており、日本国外でのご使用は保証対象外となります。
- 本製品付属のシガープラグコードは本製品専用です。弊社他製品・他社製品では使用しないでください。また弊社他製品・他社製品のシガープラグコードを本製品で使用しないでください。

使用上のご注意

- 本製品に水などの液体をかけたりしないでください。また濡れた手で本製品を取り扱わないでください。
- 本製品の端子など金属部分に触れないでください。接触不良の原因になります。
- マイクロSDカードを挿入する場合は、正しいコネクタの向きに水平に接続してください。誤った向きに挿入すると、故障や破損の原因になります。
- マイクロSDカードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- マイクロSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、1カ月に1度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。
- 本製品を使用中にマイクロSDカードのデータが消失しても、データの保証について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品のケーブルの被覆が破れたり、コネクタがぐらついたりするなどの異常がある場合には使用を中止してください。
- LCD（液晶）画面は、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。これらは、LCDの特性によるものであり、故障ではありません。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いた場合は、乾いた布で拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に対する補償や、接続した機器などに対する保証は一切いたしかねます。
- 製品の仕様、デザイン、および本説明書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- 本製品はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品の故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生する損害について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジ等のTVのアンテナの近くに設置しないでください。TVの受信感度に影響を与える可能性があります。
- 本製品をいたずらなどの本来の目的以外で使用すると個人情報保護法に抵触する恐れやプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらについて弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の取付けによる車両の変色、変形については弊社では一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用しないでください。
- 位置測位に関して、受信環境や機器の状態により、位置情報や時刻に誤差がでる場合があります。

- 金属コーティング等の特殊加工が施されたガラス面の近くに設置した場合、衛星からの電波受信に影響がある場合があります。
- GPSの速度表示に関しては、位置情報に基づいた計測方法となります。車両のスピードメーターの表示とは計測方法が異なり、速度に誤差や表示タイミングにズレが生じます。
- 車両が停車中でも、速度表示が0 Km/hにならない場合があります。これは、位置測位の誤差によるもので故障ではありません。

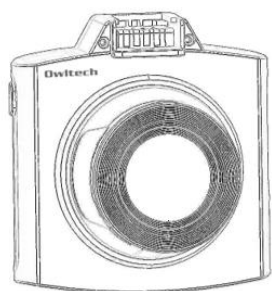
内容

特徴	1	4.2 ファイルの保護／保護解除	27
はじめに	2	5 設定を変更する	28
安全上のご注意（必ずお守りください）	2	5.1 ビデオモードメニュー	28
使用上のご注意	3	5.2 設定メニュー	30
1 準備	6	6 キー割当て	32
1.1 パッケージ内容	6	7 故障かなと思ったら	33
1.2 各部の名称	7	7.1 電源がオンにならない	33
1.3 各部の説明	8	7.2 録画を開始しない	33
1.4 マイクロ SD カードの取付け／取外し	9	7.3 キーが反応しない、動作がおかしい	33
1.5 本体の取付け	10	7.4 メモリーエラーが出る	33
1.6 シガープラグコードの接続と配線	12	7.5 常時録画でビデオが保存されていない	33
1.7 電源とスーパーキャパシタについて	13	7.6 録画した映像がぼやけている	33
1.8 電源のオン／オフ	14	7.7 信号待ちのときに常時録画が停止して しまう	33
1.9 動作モード	14	7.8 地上デジタル放送に影響がでる	34
1.10 日時の設定	15	7.9 パソコンで映像が再生できない。また はスムーズに再生できない	34
1.11 マイクロ SD カードのフォーマット	16	7.10 日時がリセットされてしまう	34
2 録画する	17	7.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしま う	34
2.1 録画について	17	8 仕様	35
2.2 録画時間の目安	17		
2.3 ビデオモード画面表示	18		
2.4 常時録画	19		
2.5 緊急録画（衝撃検出時）	19		
2.6 保護録画（手動）	20		
2.7 マニュアル録画	20		
2.8 駐車監視（動体検出録画）	20		
2.9 プライバシーオート録音	22		
3 再生する	23		
3.1 本製品での再生	23		
3.2 再生モード画面表示	23		
3.3 パソコンでの再生	24		
3.4 ビューワーソフトでの再生	25		
4 消去する／保護する	26		
4.1 ファイルの消去	26		

1 準備

1.1 パッケージ内容

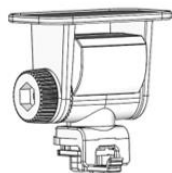
- 本体
- シガープラグコード (約 4 m)
- GPS 内蔵ブラケット
- マイクロ SD カード (16GB)
- 取扱説明書兼保証書 (本説明書)



本体



シガープラグコード



GPS内蔵
ブラケット

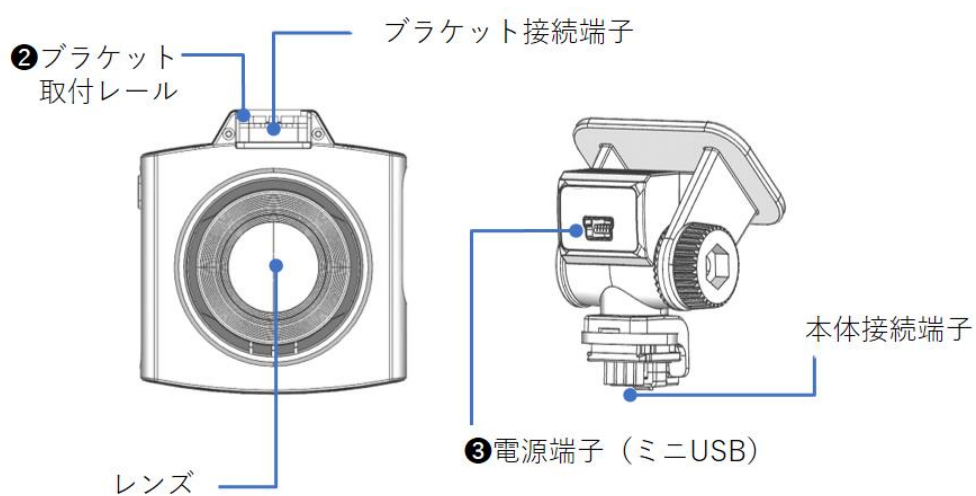
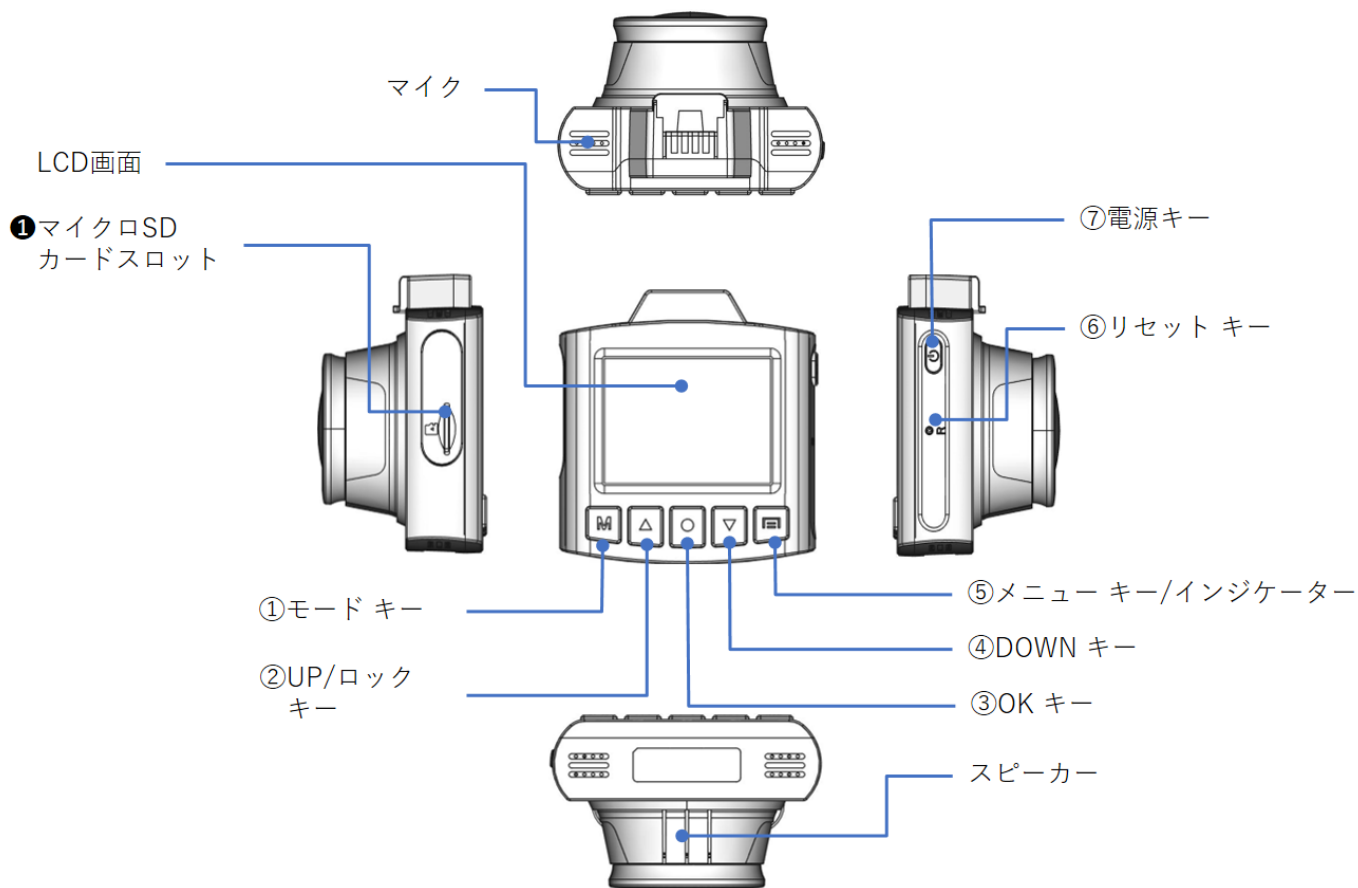


マイクロSDカード (16GB)
(SDカード変換アダプタ付属)

粘着テープ等の消耗品は保証対象外となります。

⚠ マイクロ SD カードは、容量 128GB までの SDHC/SDXC 規格に適合した Class10 以上の高速 SD カードを使用してください。

1.2 各部の名称




1.3 各部の説明

(1) キーボタン

項目	説明
① モードキー	録画停止中に「モード」キーを押すと「再生モード」に切り替わります。再度キーを押すとビデオモードに戻ります。
② UP/ロック キー	メニューモードでは項目の選択を行います。再生モードではファイルの選択を行います。録画中に押すと録画中のファイルを保護フォルダに保存します（もう一度押すと保護解除になります）。
③ OK キー	ビデオモードでは録画の開始/停止を行います。再生モードでは動画の再生/一時停止を行います。メニューでは選択項目を決定します。
④ DOWN キー	メニューモードでは項目の選択を行います。再生モードでは動画ファイルの選択を行います。
⑤ メニューキー	録画停止状態でビデオモードもしくは再生モードのときに押すと設定メニューが表示されます。キーを押す度に「ビデオ（再生）モードメニュー」→「共通設定メニュー」が順に表示されます。
⑥ リセット キー ※1	本製品が応答しないなど動作異常が起こった場合は、リセットしてください。リセットする際は、爪楊枝などで「リセット」キーを軽く押してください。「リセット」キーを押した後は電源を入れ直してください。
⑦ 電源キー	電源オフの状態ですら3秒以上の長押しをすると本製品の電源がオンします。電源オンの状態で3秒以上の長押しをすると電源がオフします。電源が入っているときに短押しするとLCD画面が消えて、何れかのキーを押すと復帰します。

(2) 外部端子・その他

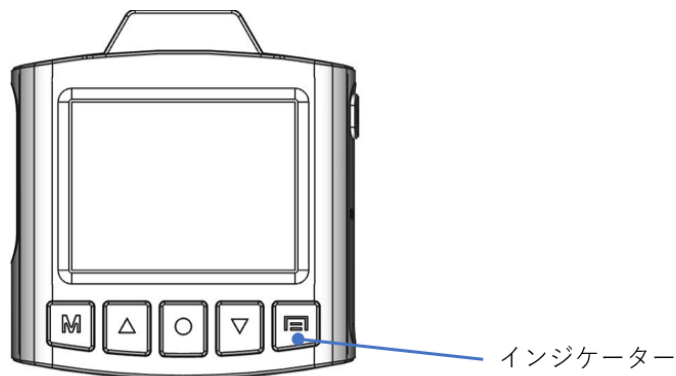
項目	説明
① マイクロ SD カード スロット	マイクロ SD カード用のスロットです。本説明書の内容に従い正しく挿入してください。
② ブラケット取付け レール	付属の GPS 内蔵ブラケットを取り付けます。本説明書に従い、正しく装着してください。
③ 電源端子（ミニ USB）	電源端子です。専用のシガープラグコードを接続してください。

 ※1：誤ってマイクなど他の穴に挿入しないでください。故障の原因になります。

(3) インジケータ

車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。

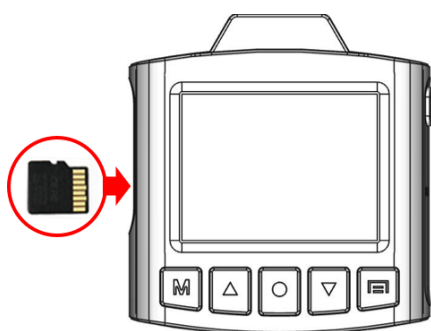
項目	説明
青点滅	録画中であることを示します。
青点灯	電源がオンでかつ録画していない状態を示します。
消灯	電源がオフであることを示します。



1.4 マイクロ SD カードの取付け／取外し

⊘ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行って下さい。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

- (1) マイクロ SD カードの金メッキ端子側を図の向きに合わせて、マイクロ SD カードスロットにまっすぐ挿入してください。マイクロ SD カードが本体よりはみ出している場合は完全に挿入されていません。再度挿入し直してください。
- (2) 取り外す場合は、電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを更に押し込んでください。



金メッキ端子側をLCD画面側に向けて挿入してください。



マイクロSDカードが本体よりはみ出している。(不完全挿入)

⚠ 推奨メンテナンス

マイクロ SD カードは消耗品です。長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせて、最低 1 カ月に 1 度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。

- ⚠ 押し込むとマイクロ SD カードが飛び出して来ます。勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失しないようご注意ください。
- ⚠ マイクロ SD カードは、SDHC/SDXC 規格に適合した Class10 以上の高速 SD カードを使用してください。
- ⚠ 初めて使用するマイクロ SD カードの場合は、最初に本製品でフォーマットを行ってください。
(16 ページ参照)

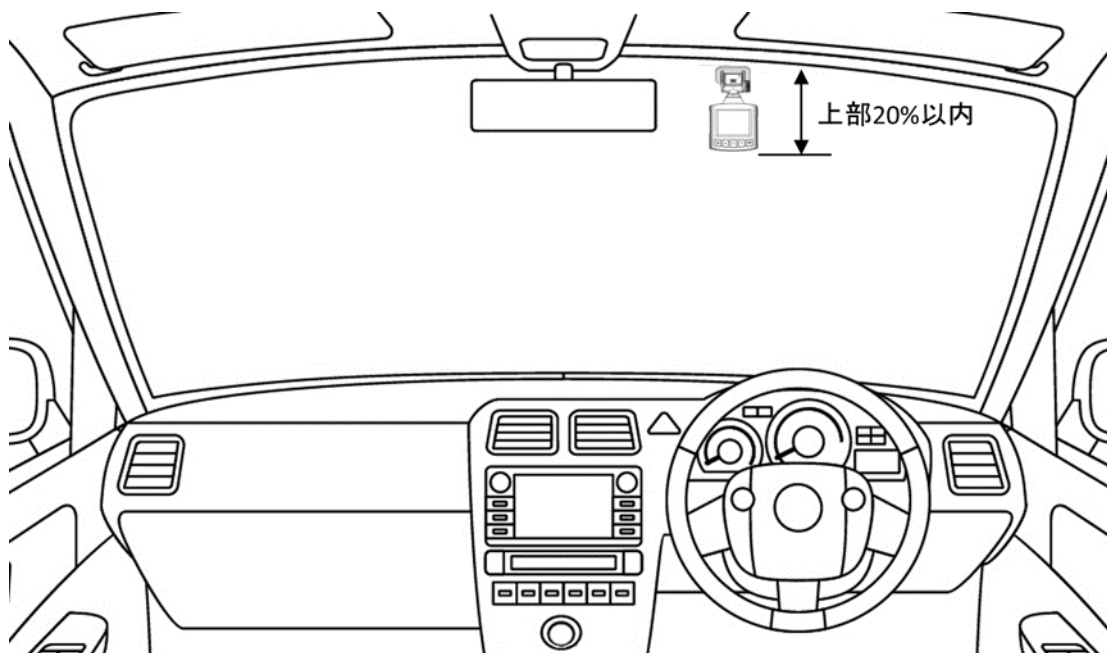
1.5 本体の取付け

(1) 取付け位置

- ⚠ 本製品はフロントガラスに取り付けることを想定しています。

安全基準に適合させるために必ず下記の注意事項を厳守の上、取付けを行ってください。

- フロントガラスへの取付けに関しては、道路運送車両法に基づき設置場所がフロントガラス上部より 20%以内に制限されています。視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見つらなくなります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- 地デジ等の TV のアンテナの近くに設置しないでください。TV の受信感度が低下する場合があります。

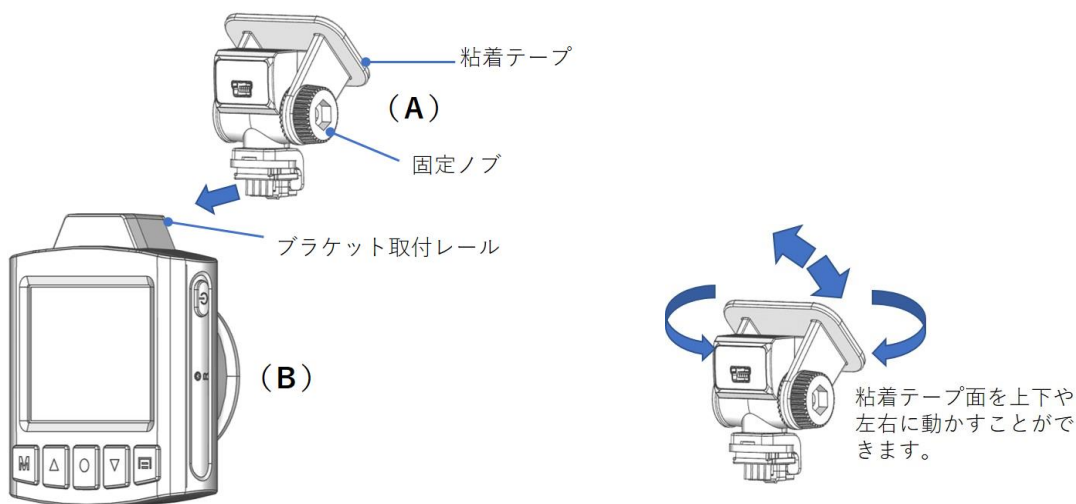


(2) 取付け方法

- 事前に取り付け位置を決め、取付け場所のフロントガラスの油脂をクリーナーなどで取り除いてください。（油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。）
- レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないで下さい。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取って下さい。
- 本体 (B) に GPS 内蔵ブラケット (A) を矢印の方向に取り付けてください。
- GPS 内蔵ブラケットにある粘着テープの保護シートを外し、フロントガラスと粘着テープの間に気泡が入らないようにしっかりと押し付けながら貼り付けてください。
- 画面を見て位置を調整し固定ノブをきつく締めてください。

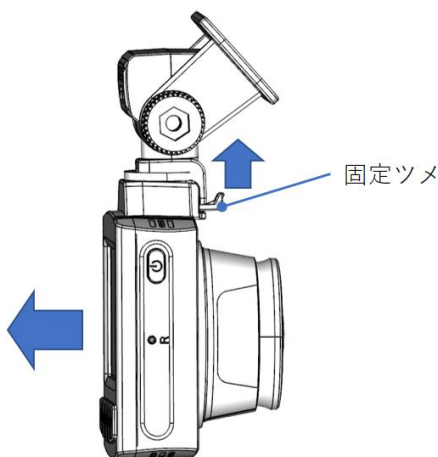
⚠ 取付け前に動作確認を行うことを推奨いたします。

⚠ 本体に GPS 内蔵ブラケットを取り付ける際は、カチッと音がするまで挿入してください。取付けが不完全だと落下する恐れがあります。



(3) 取外し方法

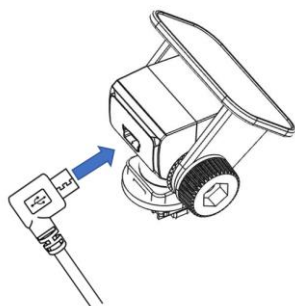
- ブラケットの接続部分の固定ツメを上を持ち上げた状態を維持しながら、本体を左矢印の方向にスライドさせると本体を取り外すことができます。



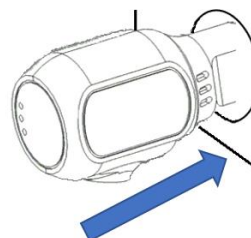
1.6 シガープラグコードの接続と配線

- (1) 付属のシガープラグコードを GPS 内蔵ブラケットの電源端子（ミニ USB）と車両のシガーソケット（アクセサリソケット）に挿入してください。

⚠ シガープラグコードは必ず付属のコードを使用してください。他のコードを使用すると故障の原因になることがあります。

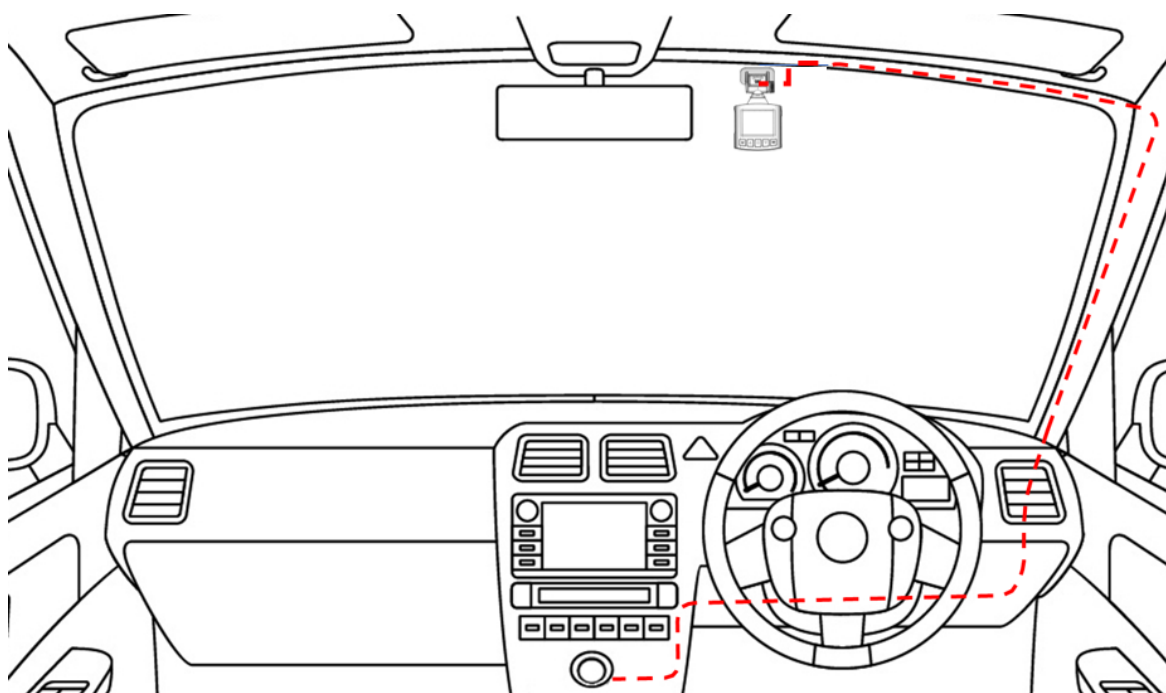


GPS 内蔵ブラケットの電源端子(ミニ USB)に接続



シガー（アクセサリ）ソケットに挿入

- (2) コードを運転の妨げにならないように配線してください。



⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。

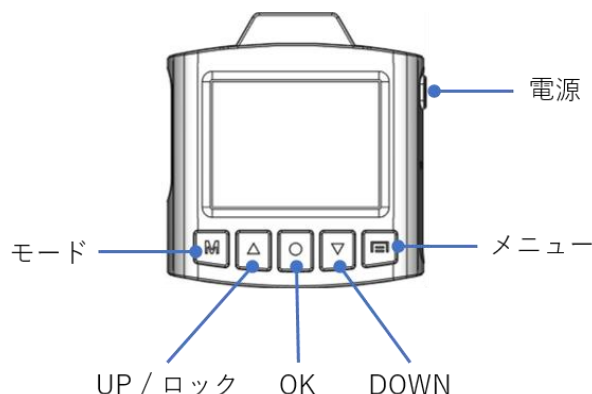
⚠ コードを配線する前に、本製品の動作確認を行うことを推奨いたします。

1.7 電源とスーパーキャパシタについて

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。同時に本体内蔵コンデンサ（スーパーキャパシタ）への充電が行われ、約 30 分で満充電になります。
 - (2) 録画中に車両のエンジンを停止（ACC=オフ）すると、自動的に録画を終了し、本製品の電源がオフします。
 - (3) 本製品は内蔵バッテリーを搭載していないので、エンジン停止中（ACC=オフ）は、「電源」キーを押しても電源は入りません。
- ⊗ 駐車時などエンジン停止（ACC=オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車を使用する場合は、エンジン停止（ACC=オフ）時には必ずシガープラグコードを抜いてください。

1.8 電源のオン/オフ

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源がオンになり録画を開始します。
- (2) 「電源」キーを3秒以上押し続けるとオフします。
- (3) 再度、「電源」キーを3秒以上押し続けると電源がオンします。



- ⚠ 本製品を初めて使用する場合は内蔵コンデンサが充電されていない可能性があるため、使用時に約30分程度充電してください。充電されていない状態で電源をオフすると、日付と時刻が初期状態(2016/01/01)に戻る場合があります。
- ⚠ マイクロSDカードが入っていない場合は、録画を行いません。

1.9 動作モード

本製品は「ビデオモード」, 「再生モード」, の二つの動作モードがあります。

録画停止中に「モード」キーを押す度に、切り換わります。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）

ビデオモード画面



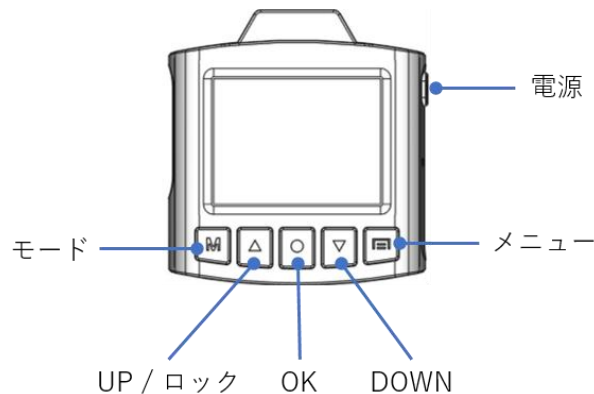
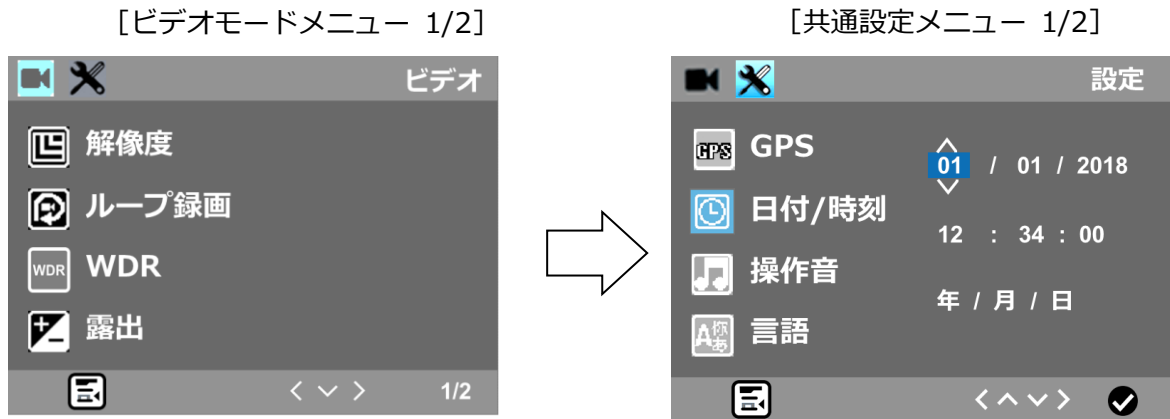
再生モード画面



1.10 日時の設定

日時は GPS により自動的に設定されるため、設定の必要がありません。但し、GPS が受信できないような環境でお使いの場合は、以下の手順で設定を行ってください。

⚠ 長時間電源オフの状態が続くと内蔵コンデンサが放電状態になり、日時設定が初期状態に戻ることがあります。その際は再度設定を行ってください。



- (1) 録画を停止して「メニュー」キーを押すと「ビデオモードメニュー」が表示されます。
(録画の停止/開始は「OK」キーを押してください。)
- (2) 「メニュー」キーを2回押すと「共通設定メニュー」が表示されます。
- (3) 「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで「日付/時刻」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 年（西暦）を「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで合わせ、「OK」キーで決定します。
- (5) 「OK」キーを押す毎に年 → 月 → 日 → 時 → 分 → 秒に移動しますので、年と同様に月日と現在時刻を合わせ、最下段の「年/月/日」に移動して、「OK」キーを押し、「共通設定メニュー」に戻ります。

日付/時刻の並び順を変更する場合は、カーソルが「年月日」のところで「UP/ロック」キーか「DOWN」キーを押すと「年/月/日」の並びが変わりますので、好みの表示形式に合わせてください。

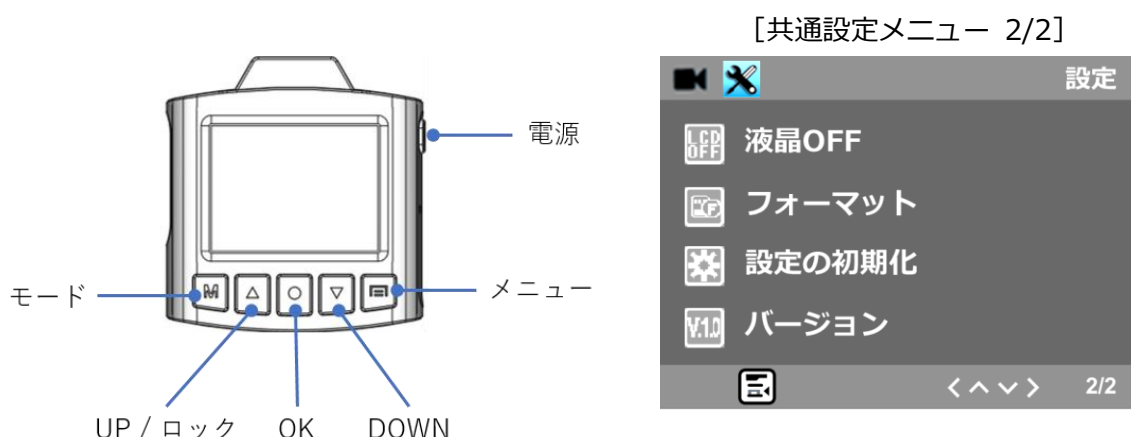
設定	表示説明
年月日	年/月/日 の順で表示されます。 例) 2018/02/28
月日年	月/日/年 の順で表示されます。 例) 02/28/2018
日月年	日/月/年 の順で表示されます。 例) 28/02/2018

- (6) 「メニュー」キーを押すと「共通設定メニュー」が終了します。

1.11 マイクロ SD カードのフォーマット

マイクロ SD カードを初めて使用する場合は、フォーマットが必要です。以下の手順に従って本製品上でフォーマットを行ってください。また品質を維持するために定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットを行うと全てのデータは削除されますのでご注意ください。

- (1) 録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止（ビデオモード）にしてください。
- (2) 「メニュー」キーを2回押すと「共通設定メニュー」が表示されます。
(メニューは、「メニュー」キーを押す度に、次のように切り換ります。
「ビデオモードメニュー」>「共通設定メニュー」>メニュー終了)
- (3) 「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで「フォーマット」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) “全てのデータを削除します”と表示されますので、「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで「OK」を選択し、「OK」キーを押すとフォーマットを実行します。“お待ちください”と表示されます。「共通設定メニュー」に戻ったらフォーマットは完了です。
- (5) 「メニュー」キーを押すとメニューを終了します。



⚠ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

⚠ 推奨メンテナンス

マイクロ SD カードは消耗品です。長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせ、最低 1 ヶ月に 1 度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。

2 録画する

2.1 録画について

本製品には5つの録画機能があります。

項目	説明
常時録画	エンジン始動(ACC=オン)の約5秒後から自動的に録画を開始し、エンジン停止(ACC=オフ)までの映像を常時録画します。
緊急録画 (衝撃検出時)	常時録画やマニュアル録画中に、内蔵のGセンサーが衝撃を検出すると、LCD上にカギアイコンが表示され、保護ファイルとして記録します(マイクロSDカードのROフォルダに保存されます)。
保護録画 (手動)	録画中に「UP/ロック」キーを押すとLCD上にカギアイコンが表示され、保護ファイルとして記録します。
マニュアル録画	録画停止中に「OK」キーを押すと録画を開始し、録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。
駐車監視 ^{※1} (動体検出録画)	カメラの画面範囲内で動体の移動を検出すると、録画が開始され、設定時間動体が検出されなければ自動的に録画を停止します。※本機能は動体検出機能をオンにして、かつ本体に電源が供給されている時のみ利用できます。駐車中の監視録画にご使用ください。

⚠ ※1：本機能はカメラ本体の電源がオンの時、メニューの「動体検出」をオンにすることで検出機能が働きます。駐車中の監視録画にご使用ください。

2.2 録画時間の目安

マイクロSDカードの容量に対する録画時間の目安を示します。

解像度	記録サイズ	16GB	32GB	64GB
1080FHD	1920 × 1080p	約 120 分	約 240 分	約 480 分
720P	1280 × 720p	約 240 分	約 480 分	約 960 分

⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。上記時間(目安)を越えると古いファイルから上書きし、ループ録画を行います。MOVIEとROフォルダが各々で50%の容量となるように規定しています。ただし、緊急録画や保護録画を優先して保存するため、緊急録画や保護録画が続いた場合は50%を超えて保存されます。その状態から常時録画を行うと、MOVIEフォルダの容量が50%になるまでROフォルダのファイルが古いものから削除されます。

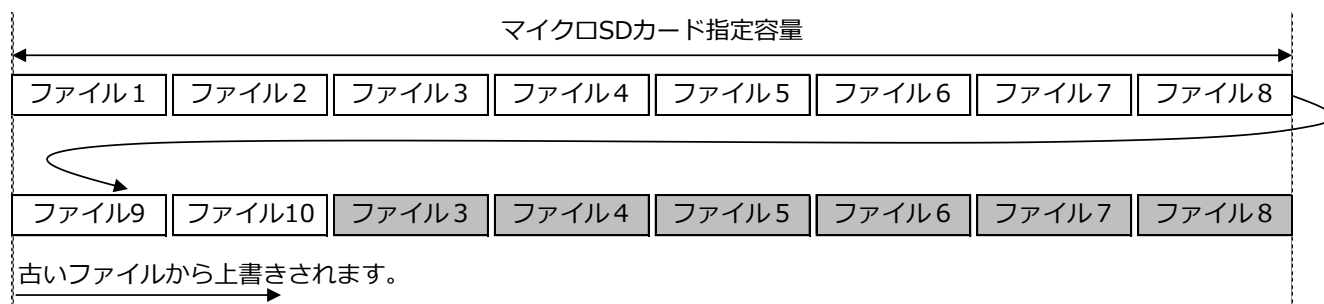
2.3 ビデオモード画面表示



	表示名	説明
①	モード アイコン	 ビデオモードあることを示します。
②	録画中 アイコン	 録画中は点滅します。
③	WDR	露出補正機能が有効の場合に表示されます。
④	カギ アイコン	 録画中に G センサーが衝撃を検出した場合、 または保護記録（手動）を行った場合に表示されます。
⑤	G センサー アイコン	G センサーの設定状態を表示しています。  G センサーが有効であることを示しています。  G センサーが無効であることを示しています。
⑥	録画時間（残量時間）	録画時間を示します。録画停止時は録画時間の残量を示します。
⑦	解像度表示	撮影時の解像度を表示します。
⑧	GPS アイコン	GPS の受信状態を示します。  受信良好  受信不良
⑨	SD カード アイコン	 マイクロ SD カードが挿入されていることを示します。
⑩	ループ録画時間 アイコン	 1分単位で録画することを示します。  2分単位で録画することを示します。  3分単位で録画することを示します。
⑪	動体検出 アイコン	 動体検出機能がオンの場合に表示されます。
⑫	露出 アイコン	 露出の設定値を表示します。
⑬	マイク アイコン	音声録音の状態を表示します。  音声録音オンの状態です。  音声録音オフの状態です。
⑭	オート録音 アイコン	A オート録音がオンであることを示しています。
⑮	日付 表示	現在の日付を表示します。
⑯	時刻 表示	現在の時刻を表示します。
⑰	電源 アイコン	 5V が供給されていることを示しています。



2.4 常時録画

- (1) 車両のエンジンを始動(ACC=オン)させると本製品がオンになり、自動的に録画を開始し、エンジン停止(ACC=オフ)までマイクロ SD カードに常時録画します。
録画開始時には録画開始を音でお知らせします。
- (2) 録画は、あらかじめ設定した録画単位で 1 ファイル毎にムービー(MOVIE)フォルダに記録されます。録画したファイルがマイクロ SD カードの指定容量に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。ループ録画単位はビデオモードのメニューから選択できます。(28 ページ参照)
- (3) 録画の解像度は、ビデオモードメニューで設定できます。(28 ページ参照)



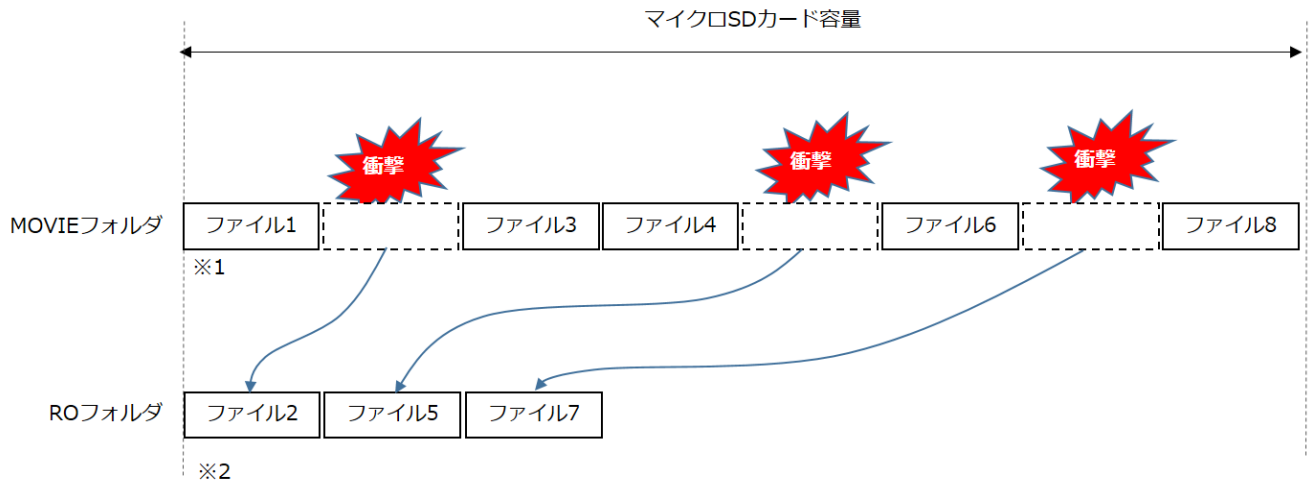
⚠ マイクロ SD カードの指定容量まで録画すると、古いファイルから上書きされます。

2.5 緊急録画（衝撃検出時）

- (1) 常時録画中に本体に衝撃が加わり内蔵の G センサーが検出すると、LCD 画面上にカギ アイコン  表示されます。
- (2) カギ アイコン  が表示された状態で 1 ファイル録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとして緊急(RO)フォルダ^{*}に記録され、その後の常時録画では上書きされなくなります。
- (3) 保護ファイルがマイクロ SD カードの指定容量に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。保存したいファイルはこまめに PC などへバックアップを行ってください。バックアップの方法は『3.3 パソコンでの再生』(24 ページ)を参照してください。本体でのファイル消去の方法は『4 消去する/保護する』(26 ページ)を参照してください。
- (4) G センサーの感度は 3 段階から選択できます。ビデオモードメニューで設定してください。

⚠ 再生モードで映像を確認する場合は、再生画面にカギ アイコンが表示されます。23 ページの『再生モード画面表示』を参照してください。

⚠ マイクロ SD カードの容量に空きがある場合（使用開始時や、フォーマット後など）は、緊急(RO)フォルダの容量が約 50%を超えても緊急録画されます。ただしマイクロ SD カードの容量が一杯になった場合は、緊急(RO)フォルダの容量が約 50%になるように古いファイルから上書きされます。





※1 MOVIEフォルダ内でファイルが一杯になったら、フォルダ内の古いファイルから上書きされます。保護ファイルに設定されたファイルは上書きされません。

※2 ROフォルダ内でファイルが一杯になったら、フォルダ内の古いファイルから上書きされます。保護ファイルに設定されたファイルは上書きされません。

⚠ 図はイメージです。ファイルサイズやファイル数は実際の物と異なります。

2.6 保護録画（手動）

- (1) 録画中に「UP/ロック」キーを押すとLCD画面上にカギアイコンが表示されます。（再度「UP/ロック」キーを押すとカギアイコンは消えます。）
- (2) LCD画面上にカギアイコンが表示された状態で録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとして緊急(RO)フォルダに記録されます。

⚠ 保護録画で保護されたファイルが、マイクロSDカードの容量の上限に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。保存したいファイルはこまめにPCなどへバックアップを行ってください。

バックアップの方法は『3.3 パソコンでの再生』（24ページ）を参照してください。

本体でのファイル消去の方法は『4 消去する/保護する』（26ページ）を参照してください。

⚠ マイクロSDカードの容量に空きがある場合（使用開始時や、フォーマット後など）は、緊急(RO)フォルダの容量が約50%を超えても緊急録画されます。ただしマイクロSDカードの容量が一杯になった場合は、緊急(RO)フォルダの容量が約50%になるように古いファイルから上書きされます。


2.7 マニュアル録画


- (1) 録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。停止中に再度「OK」キーを押すと録画を開始します。録画の条件及び動作は常時録画と同じです。

2.8 駐車監視（動体検出録画）

- ⊙ 動体検出録画は、駐車時など本製品が固定された状態（動かない状態）で使用することを想定しています。走行時は必ず動体検出機能をオフにしてください。また動体検出機能は本体に電源が供給されていない場合は動作しませんので、ご使用になる場合は駐車中でも電源が供給されるようにしてください。

(1) ビデオモードメニューの「動体検出」をオンにし、ビデオモードにすると動体検出機能が有効になります。本機録画範囲内の動体を検知すると録画が開始され、10 秒間動体が検知されなければ自動的に録画を停止します。(29 ページ参照)

 動体検出録画で録画したファイルは MOVIE フォルダに格納されます。

 動体検出録画中に衝撃が検出されると、録画は緊急録画として RO フォルダに保存されます。

2.9 プライバシーオート録音

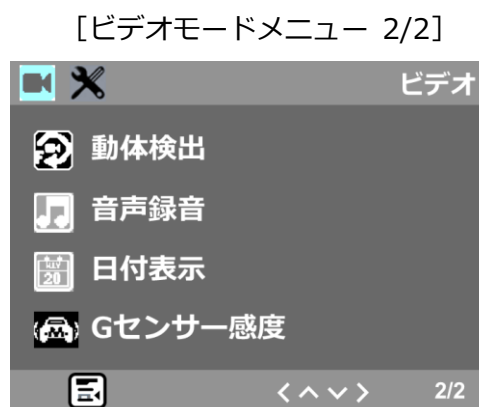
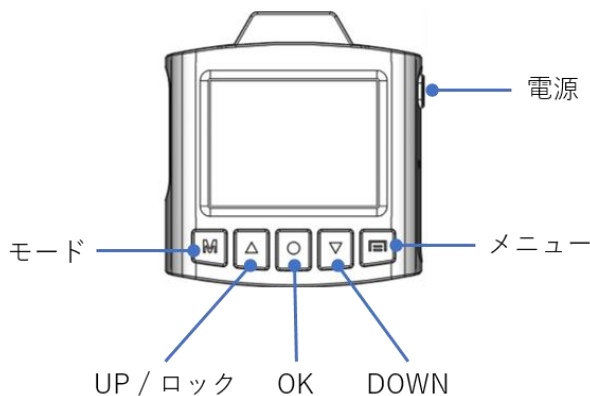
プライバシーオート録音機能は、常時録画中は音声録音を行わず、衝撃を検出した場合のみ音声録音を行う機能です。衝撃を検出した時点から音声録音が始まり録画完了まで録音されます。（ファイルは緊急(RO)フォルダに入ります。）次の録画では再び音声録音を行わない状態に戻ります。

⚠ 衝撃検出する前の音声は録音されません。音声録音中はLCD画面上にカギ アイコンが表示されます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「ビデオメニュー」が表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで「音声録音」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 「オート」を選択することで本機能が有効になります。本機能を使用したくない場合は「オン」または「オフ」を選択してください。（初期設定はオートです。）

項目	説明
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オート (初期設定)	常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を開始し、録画中のファイルが保存されるまで録音が続きます。

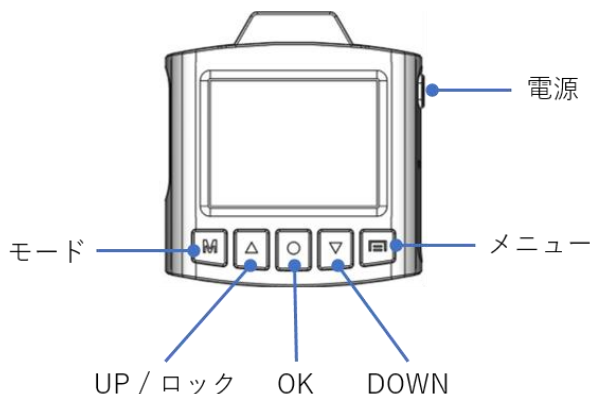
- (4) 「メニュー」キーを2回押すとメニューを終了します。



3 再生する

3.1 本製品での再生

- (1) 録画停止中に「モード」キーを押すと「再生モード」に、もう一度押すと「ビデオモード」に切り換わります。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 再生モードにすると、保存先のフォルダに関わらず、録画ファイルが表示されます。
- (3) 再生したいファイルを「UP/ロック」キー、「DOWN」キーで選択します。
- (4) 「OK」キーを押すとファイルが再生されもう一度押すと一時停止になり、「OK」キーを押す度に再生と一時停止を繰り返します。



3.2 再生モード画面表示



	表示名	説明
①	再生モード アイコン	再生モードであることを示します。
②	ファイル名	表示されている動画のファイル名です。
③	解像度	録画されたファイルの解像度です。
④	カギ アイコン	緊急録画や保護録画で保存されたファイルであることを示します。
⑤	日時	録画した日時を示します。
⑥	電源 アイコン	5V が供給されていることを示します。
⑦	再生/停止 アイコン	再生/停止を示します。 再生状態を示します。 停止状態を示します。

3.3 パソコンでの再生

本製品で撮影した映像はマイクロ SD カードを介してパソコンで再生することができます。


- (1) 本製品の電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを取り出します。
- (2) マイクロ SD カードを、パソコンのマイクロ SD カードスロットに挿入します。パソコンのスロットが SD カードスロットの場合は付属の SD カード変換アダプタを使用してください。
パソコンにマイクロ SD カードスロットも SD カードスロットもない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。
- (3) パソコンでマイクロ SD カードが接続されているドライブをダブルクリックします。
- (4) CARDV フォルダの下に MOVIE と RO フォルダがあります。各フォルダに保存されるファイルの種類については下記をご参照ください。
- (5) 再生したいフォルダを開いてください。
- (6) 再生したいファイルを選択し、MOV 対応の動画再生ソフト又は、専用ビューワーソフトで再生してください。

マイクロ SD カードのフォルダと保存ファイル例

ルートフォルダ	フォルダ名	保存ファイルの種類	保存ファイルの例
CARDV	MOVIE	・ 常時録画ファイル ・ 動体検出時の録画ファイル	2018_0101_100105_001.MOV 2018_0101_100105_002.MOV 2018_0101_100105_003.MOV
	RO	・ 衝撃検出時の緊急ファイル ・ 手動で保護したファイル	2018_0101_100105_004.MOV

ファイル名詳細(上記保存ファイルの例)


ファイル名	2018	0101	100105	001	MOV
説明	年	月日	時分秒(開始時刻)	連番	動画種別

 マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行って下さい。電源を入れたまま行くとマイクロ SD カードの破損やデータ消失、本体の故障が発生する場合があります。

3.4 ビューワーソフトでの再生

本製品で撮影した映像は、専用のビューワーソフト「Owltech Viewer」で再生することができます。ビューワーソフトと取扱説明書は下記の弊社 Web サイトの OWL-DR401G 商品ページからダウンロードしてください。ダウンロードしたソフトを解凍後、画面の指示に従ってインストールしてください。対応 OS は Windows7 以降です。

- (1) 弊社 web サイトの URL
<https://www.owltech.co.jp>

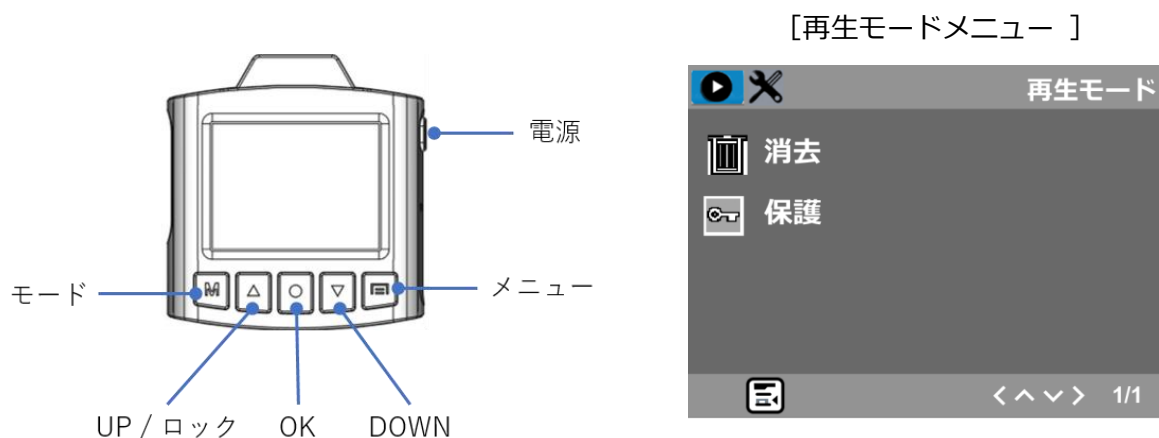
 ビューワーソフト「Owltech Viewer」は予告なく変更されることがあります。詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

4 消去する／保護する

4.1 ファイルの消去

ファイルの消去は、再生メニューから行うことができます。保護されているファイルを消去する場合は、先にファイルの保護を解除する必要があります。『4.2 ファイルの保護／保護解除』（27ページ）を参照してください。

- (1) 録画停止中に「モード」キーを押すと「再生モード」画面が表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「メニュー」キーを押すと「再生モードメニュー」が表示されます。（メニューは、「メニュー」キーを押す度に次のように切り換ります。「再生モードメニュー」>「共通設定メニュー」>「再生モード」>「再生モードメニュー」）



- (3) 「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで「消去」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 項目の詳細が表示されます。「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「OK」キーで決定してください。

1 ファイル毎に消去するか、全てのファイルを消去するか選択できます。保護されているファイルを消去する場合は、保護を解除してから消去してください。

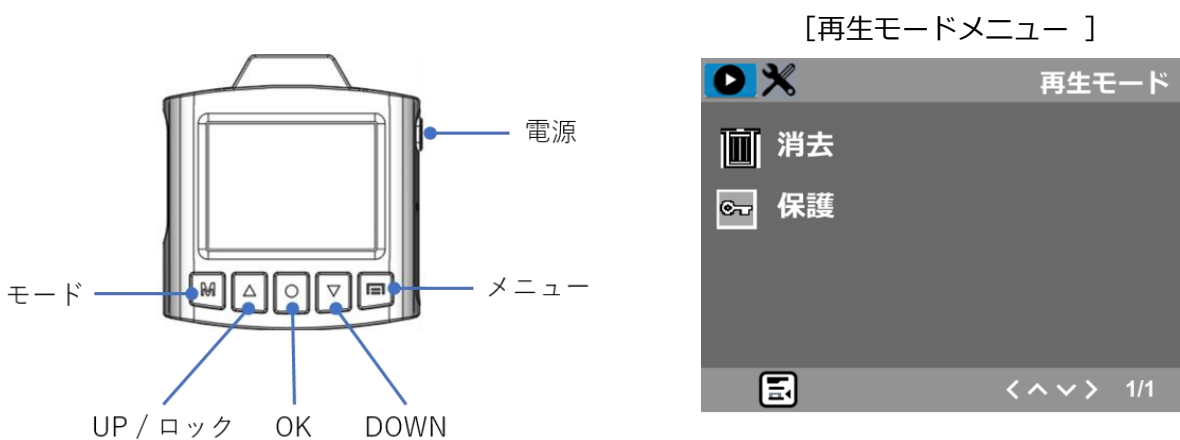
項目	説明
このファイルを消去	選択中のファイルを消去します。
全て消去	保護されていない全てのファイルを消去します。

4.2 ファイルの保護／保護解除

録画されたファイルを手動で保護することができます。保護されたファイルを消去する場合は、保護を解除する必要があります。

ファイルの保護／保護解除は、再生メニューから行うことができます。


- (1) 録画停止中に「モード」キーを押すと「再生モード」画面が表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「メニュー」キーを押すと「再生モード」メニューが表示されます。
（メニューは、「メニュー」キーを押す度に次のように切り換ります。
「再生モード」メニュー→「設定」メニュー→「再生モード」→「再生モード」メニュー）



- (3) 「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで「保護」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 項目の詳細が表示されます。「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「OK」キーで決定してください。

1 ファイル毎に保護または保護解除するか、全てのファイルを保護または保護解除します。

項目	説明
このファイルを保護	選択中のファイルを保護します。
このファイルを保護解除	選択中のファイルの保護を解除します。
全てのファイルを保護	全てのファイルを保護します。
全てのファイルを保護解除	全てのファイルの保護を解除します。

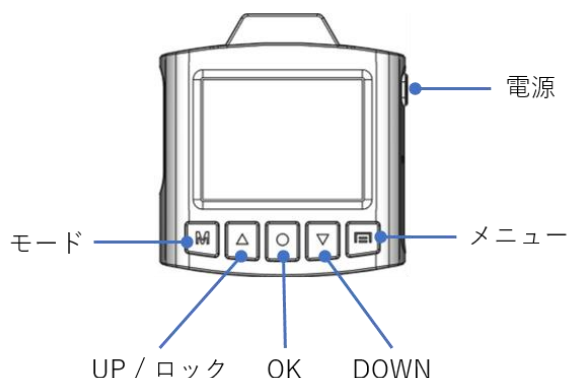
- (5) 保護されたファイルには「カギ アイコン」 が付いて、保護されている状態であることを示します。

5 設定を変更する

5.1 ビデオモードメニュー

ビデオモードに関わる設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「ビデオモード」メニューが表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで変更する項目を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/ロック」キー/「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「OK」キーで決定してください。



[ビデオモードメニュー 1/2]



[ビデオモードメニュー 2/2]



「ビデオモードメニュー」設定項目

● 解像度【初期設定：1080FHD】

動画の解像度を設定します。

項目	説明
1080FHD	1920 x 1080p , 27.5fps で記録します。
720P	1280 x 720p , 27.5fps で記録します。

● ループ録画【初期設定：2分】

録画時間単位を設定します。1 ファイル毎に設定した時間で録画されます。マイクロ SD カードの容量が一杯になると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。

項目	説明
1分	1分単位のループ録画を行います。
2分	2分単位のループ録画を行います。
3分	3分単位のループ録画を行います。

● WDR【初期設定：オン】

WDR をオンにすることで、逆光やトンネルの出入口など、明暗が強い場合に画像補正を行い、鮮明な画像を録画します。

項目	説明
オフ	WDR をオフにします。
オン	WDR をオンにします。

● 露出【初期設定：0】

光量を調整して好みの露出で録画します。

-2～+2 の範囲で露出を調整できます。

暗くしたい時 ←	標準	→ 明るくしたい時
-2.0 ~ -1/3	0	+1/3 ~ +2.0

● 動体検出【初期設定：オフ】

録画範囲内で物体が動いたときに自動で録画を開始します。

「2.8 駐車監視（動体検出録画）」を参照してください。

項目	説明
オフ	動体検出録画を行いません。
オン	物体が動くと録画を開始します。

⊗ 駐車中を想定しています。移動中は必ずオフに設定してください。

● 音声録音【初期設定：オート】

録画と同時に音声を録音することができます。オートに設定すると、常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

項目	説明
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オート	常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

● 日付表示【初期設定：オン】

録画ファイルに日付を保存しない設定ができます。オフに設定すると再生画面に日付は表示されません。（GPS 設定がオンになると、日付表示と速度が表示されます。）

項目	説明
オフ	日付と時刻を録画ファイルに保存しません。
オン	日付と時刻を録画ファイルに保存します。

● G センサー感度【初期設定：中】

衝撃の検出感度を三段階に設定できます。

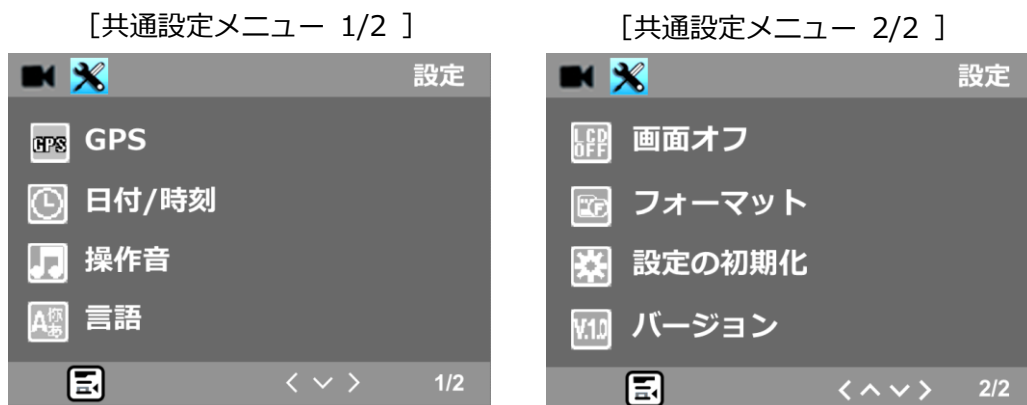
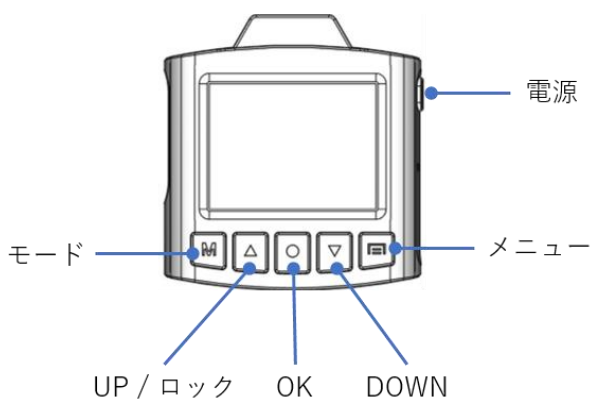
項目	説明
低	強い衝撃を検出する設定です。
中	中程度の衝撃を検出する設定です。
高	軽微な衝撃でも検出する設定です。

⚠ 検出の度合いは取付位置や車種等で異なりますので、検出感度を調整してご使用ください

5.2 設定メニュー

共通の設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「ビデオモードメニュー」が表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「メニュー」キーを2回押すと「共通設定メニュー」が表示されます。メニューは、「メニュー」キーを押す度に次のように切り換ります。
「ビデオモード」>「ビデオモードメニュー」>「共通設定メニュー」>「ビデオモード」)
- (3) 「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで変更する項目を選択し、「OK」キーで決定してください。変更する項目の詳細が表示されます。「UP/ロック」キーと「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「OK」キーで決定してください。



- (4) 「共通設定メニュー」設定項目

- GPS【初期設定：オン】

録画ファイルの映像に速度表示を重ねて記録するか設定できます。

速度表示は「日付表示」のオン・オフに連動して記録されます。

項目	説明
オフ	速度表示を映像に重ねて記録しません。
オン	速度表示を映像に重ねて記録します。

⚠ 日付/時刻は、GPS オフでも受信されます。

●日付/時刻

「1.10 日時の設定」を参考にして設定してください。

●操作音【初期設定：オン】

キー操作時の音を設定します。

項目	説明
オフ	キー操作は無音です。
オン	キー操作に連動してタッチ音が鳴ります。

●言語【初期設定：日本語】

メニューの言語を選択できます。

項目	説明
English	メニューを英語で表示します。
日本語	メニューを日本語で表示します。

●画面オフ【初期設定：オフ】

電源がオンで指定時間の間無操作状態が続くと LCD 画面が省電力モードに切り換わります。録画中画面は消灯しますが、録画は継続されます。（録画中はインジケータが青色で点滅します。）LCD 省電力モードから通常画面に復帰させるには、いずれかのキーを押します。動体検出機能がオンで消灯中に動体を検出すると LCD 画面が復帰します。

項目	説明
オフ	LCD 省電力モードに切り換えません。
30 秒	無操作状態が 30 秒続くと LCD 省電力モードに切り換わります。
1 分	無操作状態が 1 分続くと LCD 省電力モードに切り換わります。
3 分	無操作状態が 3 分続くと LCD 省電力モードに切り換わります。

●フォーマット【初期設定：キャンセル】

SD カードのフォーマットを行います（全てのデータが削除されます）。

項目	説明
キャンセル	SD カードをフォーマットしません。
OK	SD カードをフォーマットします。

●設定の初期化【初期設定：キャンセル】

本製品の設定内容を初期状態に戻します。（データは削除されません。）

項目	説明
キャンセル	初期設定に戻しません。
OK	初期設定に戻します。

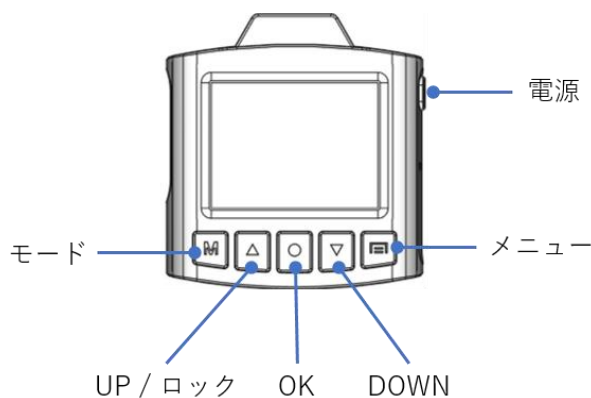
●バージョン

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

6 キー割当て

キー モード	キー割当て					
	メニュー	電源 [※]	モード(M)	OK	UP/ロック	DOWN
■ビデオモード						
録画中	-	LCD画面オフ (いずれかの キーでオン)	-	録画停止	ファイル保護 /保護解除	-
停止中	メニュー 表示/非表示	LCD画面オフ (いずれかの キーでオン)	モード切替	マニュアル録 画開始	-	-
■再生モード						
画面表示	メニュー 表示/非表示	LCD画面オフ (いずれかの キーでオン)	モード切替	動画再生/ 一時停止	前のファイル に移動	次のファイル に移動
■メニュー						
メニュー設定	メニュー 表示/非表示	LCD画面オフ (いずれかの キーでオン)	モード切替	メニュー 項目の決定	上方向に 移動	下方向に 移動

※ 「電源」キーは状態にかかわらず、3秒長押しで電源オフ。



7 故障かなと思ったら

7.1 電源がオンにならない

- シガープラグコードは本製品付属のものですか？
- シガープラグコードは正しく本製品とシガーソケットに接続されていますか？
- シガーソケットのヒューズが切れていませんか？（車側のヒューズを確認してください。）

7.2 録画を開始しない

- 電源は供給されていますか？
- マイクロ SD カードは正しく挿入されていますか？
- マイクロ SD カードに十分な空き容量があるか確認してください。
- SDHC/SDXC 規格に適合した Class10 以上の高速マイクロ SD カードを使用してください。
- マイクロ SD カードをフォーマットしてください。

7.3 キーが反応しない、動作がおかしい

- 本体をリセットしてください。（「リセット」キーを押してください。）
- マイクロ SD カードに不良セクタが発生している、または速度が遅いマイクロ SD カードを使用していると動作が止まる場合があります。一度マイクロ SD カードを PC 上でフルフォーマットするか、転送速度の速いマイクロ SD カードをご使用ください。

7.4 メモリーエラーが出る

- SDHC/SDXC 規格に適合した Class10 以上の高速マイクロ SD カードを使用してください。
- 使用できるメモリーサイズは 128GB までです。メモリーサイズをご確認ください。
- マイクロ SD カードをフォーマットしてください。（必ず本製品でフォーマットしてください。）
本製品は FAT32 形式以外のファイルシステムに対応しておりません。パソコンで exFAT 形式のフォーマットを行った場合は、再度本製品の「SD 初期化」を選択してフォーマットをしてください。
- マイクロ SD カードを挿入しても、「SD カードを挿入してください」等の表示が消えない場合は、マイクロ SD カードに異常（内部のエラー又は、端子面の汚れや劣化等）が起きている可能性があります。SD カードのクリーニングまたは、本製品やパソコン上でフルフォーマットを行っても解決しない場合は、マイクロ SD カードを交換してください。

7.5 常時録画でビデオが保存されていない

- ループ録画により 16GB のマイクロ SD カードでは連続撮影約 120 分で上書きされます。
- G センサー感度が高に設定されていませんか？G センサーが衝撃を検出するとファイルを保護するため、RO フォルダに保存されます。RO フォルダ内のファイルを確認してください。
走行中に動体検出機能がオンになっていると正常に録画されません。走行時は必ずオフにしてください。
- マイクロ SD カードを定期的にフォーマットされていますか？マイクロ SD カードは消耗品です。使用頻度に合わせ、最低でも 1 カ月に 1 回を目安に点検を行い、本製品が正常に動作しているかの確認やマイクロ SD カードのフォーマットを行ってください。

7.6 録画した映像がぼやけている

- レンズが汚れや、指紋が付いていないか確認し、汚れていたら柔らかい布でふきとってください。
- 車のウィンドウが汚れていないか、またはワイパーの可動範囲外に本製品が取り付けられていないか確認してください。

7.7 信号待ちのときに常時録画が停止してしまう

- 動体検出がオンになっていませんか？走行中は動体検出をオフにしてください。

7.8 地上デジタル放送に影響がでる

- 取付け位置を地デジアンテナからなるべく離してください。

7.9 パソコンで映像が再生できない。またはスムーズに再生できない

- 動画再生ソフトがインストールされていない場合は、インストールしてご利用ください。
- パソコンでの再生時には再生ソフトの「Owltech Viewer」をお使いください。弊社 web ページの商品ページからダウンロードいただけます。ダウンロードの詳細は「3.4 ビューアソフトでの再生」（25 ページ）をご参照ください。他のビューアソフトをご使用の際には、ご使用のパソコンが Quick Time 形式のビデオを再生できる仕様であるかご確認ください。
- 起動しているアプリケーションは出来る限り終了してください。
- SD カードのエラー又は不良の可能性があります。動画ファイルをパソコンなどにコピーしパソコン本体上から動画ファイルを選択し再生を行ってください。

7.10 日時がリセットされてしまう

- 長期間ご使用されなかった場合など、内蔵コンデンサが空になり日時がリセットされることがあります。その際は電源を供給して再度設定してください。日付がリセットされる場合は、約 30 分～約 1 時間程度充電してください。
- 短時間のご使用が多い場合は内蔵コンデンサが充電不足になり日時がリセットされる場合があります。その際は一週間に一度を目安に約 30 分～約 1 時間程度充電してください。

7.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう

- 画面オフ機能が有効の場合、録画中に設定時間が経過すると画面が消えます。LCD 画面を常に表示したい場合は、画面オフ機能をオフにしてください。

8 仕様

製品名	OWL-DR401G		
外形寸法 (本体)	62 (W) ×42 (D) ×66 (H) mm		
本体重量	62g		
カメラ	撮像素子	1/2.9 インチ CMOS センサー	
	画素数	219 万画素	
	レンズ F 値	F1.8	
	視野角	対角 141° (水平 : 120° / 垂直 : 64°)	
WDR/HDR	WDR 対応		
記録メディア	SDHC/SDXC 規格 マイクロ SD カード 128GB まで対応 (Class10 以上) 16GB 付属		
記録解像度	動画	FHD 1920x1080p HD 1280x720p	
	静止画	非対応	
LCD	2.0 インチ TFT 液晶		
記録方式	MOV フォーマット		
フレームレート	30fps		
映像・音声出力	非対応		
GPS 内蔵ブラケット	テープ貼付けタイプ, GPS アンテナ内蔵, ミニ USB (5V, 1A)		
本体電源入力	GPS 内蔵ブラケットより供給 (5V / 1A)		
シガープラグコード	入力電圧 : 12V / 24V 入力 (マイナスアース) 出力電圧 : 5V / 2A (ミニ USB) ,長さ 4m		
GPS	対応		
動作温度範囲	-10℃ ~ 60℃		
その他	LED 信号機消滅問題対策済み 地デジ妨害対策実施済み		

マイクロ SD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

	記録サイズ	16GB	32GB	64GB
1080FHD	1920 × 1080	約 120 分	約 240 分	約 480 分
720P	1280 × 720	約 240 分	約 480 分	約 960 分

⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。常時録画は、上記時間 (目安) の約 50% を超えると古いファイルから上書きし、ループ録画を行います。(19 ページ) を参照してください

Owltech 保証書

1. 保証について

- 保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。
- 本製品の保証は、日本国内での使用に限ります。
- 開梱直後に故障または不具合が発生した場合は、販売店捺印のある本保証書か、それに代わるレシート、または納品書等をご用意の上、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせ下さい。
- 以下保証規定に従った内容で無償修理または交換いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理または有償交換となります。

2. 保証規定

この保証書は正しい使用方法に従った上で起きた故障で、保証期間内であることが認められた場合に限り、無償で修理または交換を保証するものです。また適用範囲は本体のみであり、シガープラグなどの付属品は保証の対象外となります。保証期間内であっても次の各項に該当する場合は、保証対象外または有償対応となります。

- 使用上又は取付け時の誤り及び当社以外での修理、調整、改造による故障及び損傷。
- ご購入後の落下、不適当な取付けなど、自損や不当な取り扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（他の電子機器など）にあって、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び本保証書に購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 機能上問題の無い小傷、液晶画面のドット抜け、及び箱などの軽微な傷や潰れ等。
- 製品を使用できなかった事の対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。
- オークション、中古販売及び譲渡等により本製品を入手した場合など。

品名/型番	ドライブレコーダー / OWL-DR401G	
ご購入年月日	年 月 日	
保証期間	ご購入日より1年間	
保証対象	本体	
お客様	ご氏名	保証書無効
	ご住所	
	電話番号	
販売店	販売店印・レシート添付欄	印

- * 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- * 本書は、本記載内容で無償修理・交換をさせていただくことをお約束するものです。本保証書にご購入店の捺印が無い場合は購入レシート等で代用可能ですので、必ずレシートは本保証書と一緒に大切に保管して下さい。

株式会社オウルテック

〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5-24-1

webサイト <https://www.owltech.co.jp>

web内のメールフォームよりお問い合わせください。
保証適用の際は購入履歴が必要となります。

☎046-236-3522 平日10時～12時/13時～18時

F-T190058-02